

世界農業文化遺産「紫鵲界の棚田」

紫鵲界棚田は湖南省婁底市新化県水車鎮に位置し、13の行政村に及んでおり、雪峰山の余脈に属する奉家山域に属し、総面積26万ム一余り、核心区域面積は2万ム一余りで、世界重要農業遺産及び世界灌漑プロジェクト遺産に指定されています。

1.歴史の起源:紫鵲界の棚田の起源は先秦で、盛は宋明で、すでに約2000年の歴史を前にして、中国の苗、瑶、侗、漢などの多くの民族の歴代のチョン・ソンミンの共同労働の結晶です。山地の漁獵文化と稲作文化が融合し、古梅山地域の象徴的な文化的景観として際立っています。

2.規模の特徴:周辺の棚田は8万ム一以上で、核心景勝地は2万ム一以上です。小、多、高、つまり棚田の面積は比較的小さいですが、数が多く密集しており、標高も高いのが特徴です。

3.自然条件と灌漑システム:紫鵲界の棚田は独特の自然地形と巧みな灌漑システムに依存しており、外部の水源を借りて灌漑を行う必要はありません。ここの山体は花崗岩で、土壌の吸水性が悪く、降水が急速に地下に浸透して地下水となり、さらに岩の割れ目や土壌の穴を通して湧き出てくることで、天然の灌漑用水が形成され、棚田が長く潤っています。

4.農業生産:棚田は主に稲作に使われています。先住の人々は豊富な経験と知恵によって、地形と気候条件に応じて、適した稲作農業を

発展させ、多くの優れた稲の品種を育ててきました。このような農業生産方式は現地の食糧供給を保証しただけでなく、独特の農耕文化を形成しました。例えば、稲作には開耕の儀式や神事など、豊作への期待や自然への畏敬の念が込められた伝統的な農耕儀礼や習俗があり、深い文化の内包を表しています。

5.生態的意義:紫鵒界の棚田は豊富な生物多様性を持っています。棚田に形成された独特の生態環境は、様々な水生生物、昆虫、鳥類など、多くの動植物の生息地と生存空間を提供しています。同時に、棚田の植生被覆は水土を保持し、水源を涵養するのに役立ち、地域の生態系のバランスを維持するのに重要な役割を果たしています。また、伝統的な農業生産方式は環境への影響が少ないため、生態系が長期的に安定して健康に保たれています。

6.文化的価値:重要な農業文化遺産である紫鵒界の棚田は、深い文化的遺産を内包しています。それは地元の農業生産の証人であるだけでなく、更に民族の文化の融合の象徴で、異なる民族が長期の生産生活の中で相互に交流し、相互に学び、共に発展する過程を体現しています。このような多文化の融合は、棚田の建築様式、農耕技術、民俗風情などにも鮮明に現れています。たとえば、棚田の畦作りはユニークで実用的で美しいもので、地元の人々の建築の知恵が表れています。各民族の伝統衣装、歌や踊り、手仕事などが棚田周辺で伝承・発展し、独特の文化的景観となっています。

7.観光開発:現在、紫鵒界の棚田は国家 4A 級観光地となり、多くの

観光客を引きつけています。観光客はここで壮大な棚田の風景を味わい、伝統的な農耕生活を体験し、豊かな民俗文化の雰囲気を感じることができます。観光開発は地元で経済収益をもたらすと同時に、文化の伝承と保護を促進し、人々の農業文化遺産に対する認識と重視を強めました。例えば、地元は観光の発展を通じて、農家楽、民宿などの産業の発展を促進し、村民により多くの雇用と増収のルートを提供しました。また、棚田文化祭のような様々な文化活動や祭りの開催を通じて、紫鵒界の棚田の知名度と影響力をさらに高めました。